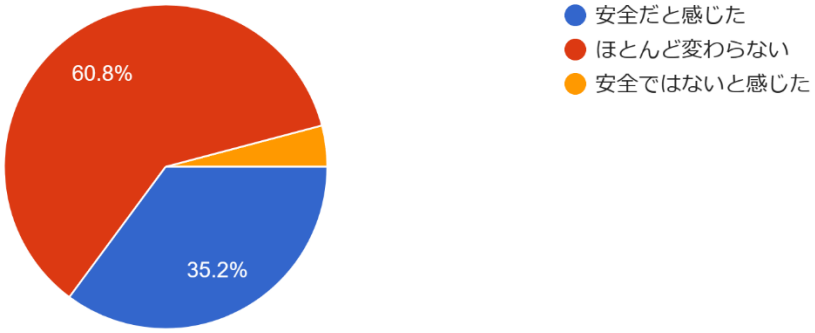
（資料２）今回の通学路変更（試行）について生徒アンケートの結果

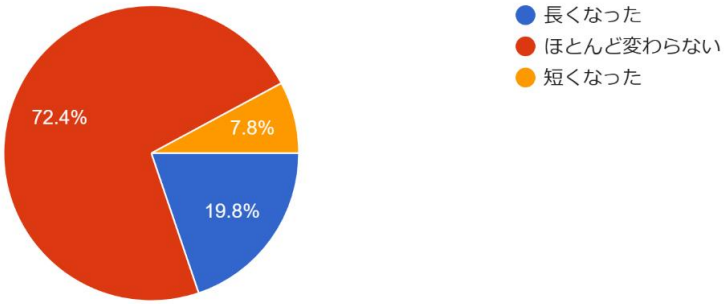
（第１回　令和６年１月２６日　２８５名　　第２回　令和６年２月１６日　２９３名）

１　安全について



通学路を変更しても、「ほとんど変わらない」と答えた生徒が６割を超え、「安全だと感じた」生徒が３割を超える。

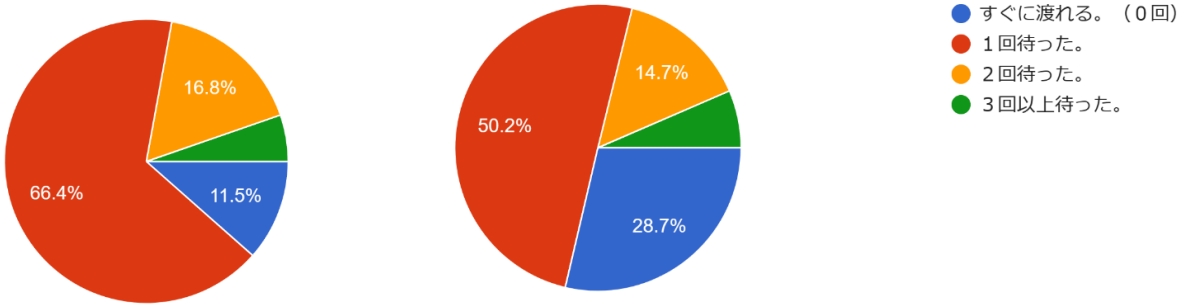
２　通学にかかった時間



通学路を変更しても、８割の生徒が「ほとんど変わらない」「短くなった」と答えている。

３　通学路上の押しボタン式信号の待ち時間の変化

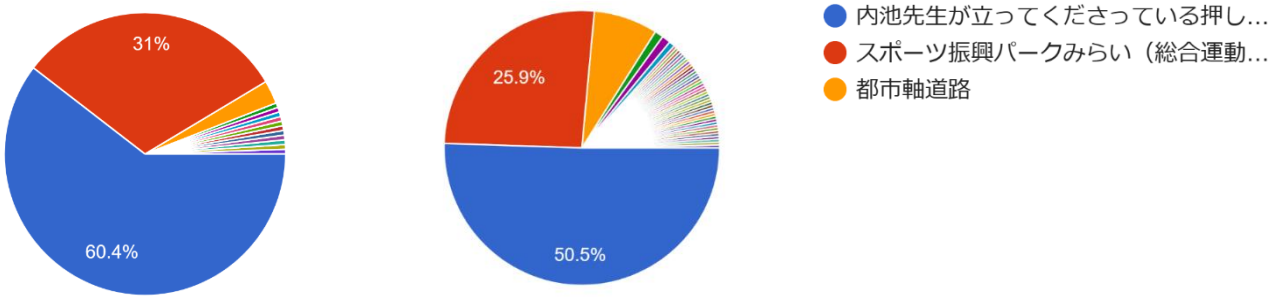
［試行実施前］　　［試行中］



試行中は、生徒の通学路が分散したために、押しボタン式信号機への混雑は軽減した。

４　通学路について

［試行実施前］　　［試行後］



横断が危険な県道を避け、押しボタン式信号で横断したり、都市軸道路を通行したりする生徒が増加している。